

海外事情報告会 (Part 1)

～ローマ (イタリア) とカラチ (パキスタン) から～

秋晴れの9月27日(土)、北海道国際交流センター帯広で「海外事情報告会」が行われました。この日の報告は、3年間の在外教育施設勤務を終えて今春帰国された金元 弘子さん(帯広市立大空中学校教諭 : 元ローマ日本人学校教諭)と上坂 寛さん(幕別町立札内南小学校教諭 : 元カラチ日本人学校教諭)のお二人からでした。

「チャオ！」笑顔と太陽の国イタリアから



「イタリア国旗」



「ローマ日本人学校校章」



「金元弘子先生」

金元弘子先生は、帯広市と同緯度ながら、地中海性気候のため、とても温暖な気候のイタリアの首都ローマで、3年間イタリアの文化に触れながら、日本人の教育に力を注ぎました。特に総合的な学習の時間「ローマの時間」において、地域の教育資源・教育人材を生かす実践を推進されたそうです。学校周辺での職場体験により、体験的な活動を取り入れ、イタリアでのコミュニケーションのとりかた、および職業観を児童・生徒に考えさせる学習の工夫を積極的に取り入れたそうです。また、「ピッツァ職人の方に指導を仰いだ『石窯焼きのピッツァ作り』」の話を写真を見ながら聞くと、思わず本場のピッツァを食べたくなりました。

また、「ドタキャン」の理由が、日本には少し理解しがたいことも、異文化を味わうということで興味深く聞くことが出来ました。



『石窯焼きのピッツァ作り』を語る金元先生